

2014 FIA世界選手権シリーズ第15戦

F1 日本グランプリレース 全体企画概要

【本日の資料】

- ・2014年シリーズの展開
- ・日本GPにおけるイベント

2014年8月1日
株式会社モビリティランド
鈴鹿サーキット

■周辺環境

①小林可夢偉選手 参戦

小林可夢偉選手が2年ぶりに参戦。ケータハムF1チーム所属

※昨日、三重テラスで小林可夢偉選手を招いて
記者発表会を開催。(東京 日本橋)



②F1車両規則改定

2013年:自然吸気2.4リッター(V8) → 2014年:1.6リッターターボ(V6)
⇒88年以來のターボエンジン復活。市販車技術・環境技術が一般メディアの報道対象に。
⇒チャンピオン争い勢力図に大幅な変動が見込まれる。



③ライコネン、フェラーリ移籍

ライコネンが2009年以來のフェラーリ復帰
⇒非常に人気が高いライコネンがフェラーリに移籍復帰したことで、新たなファン創出の可能性。



④HondaF1復活に向けて残り1年

パワーユニット開発最終段階
⇒2015年に向けた応援イベント・企画



⑤決勝日は、2014年10月5日(日)

⇒決勝後の10月6日(月)が平日 ※例年10月第2週開催。

順位	No.	ドライバー	チーム	Pt.
1	6	ニコ・ロズベルグ	(メルセデスAMG)	202
2	44	ルイス・ハミルトン	(メルセデスAMG)	191
3	3	ダニエル・リカルド	(レッドブル)	131
4	14	フェルナンド・アロンソ	(フェラーリ)	115
5	77	バルテリ・ボッタス	(ウィリアムズ)	95
6	1	セバスチャン・ベッテル	(レッドブル)	88
7	27	ニコ・ヒュルケンベルグ	(フォース・インディア)	69
8	22	ジェンソン・バトン	(マクラーレン)	60
9	19	フェリペ・マッサ	(ウィリアムズ)	40
10	20	ケビン・マグヌッセン	(マクラーレン)	37
11	11	セルジオ・ペレス	(フォース・インディア)	29
12	7	キミ・ライコネン	(フェラーリ)	27
13	25	ジャン・エリック・ベルニュ	(トロ・ロツソ)	11
14	8	ロマン・グロージャン	(ロータス)	8
15	26	ダニール・クビアト	(トロ・ロツソ)	6
16	17	ジュール・ピアンキ	(マルシャ)	2
-	10	小林可夢偉	(ケータハム)	0
-	9	マーカス・エリクソン	(ケータハム)	0
-	99	エイドリアン・スーティル	(ザウバー)	0
-	21	エステバン・グティエレス	(ザウバー)	0
-	13	パストール・マルドナド	(ロータス)	0
-	4	マックス・チルトン	(マルシャ)	0



2009年のF1再開からお客様のおもてなしは「安全・安心・快適」を中心コンセプトに展開してきました。イベントではF1の本質的魅力を訴求するイベントから将来を見据えたファミリー向けイベントまで様々な取り組みを進化させます。

■コンセプト(F1の本質的価値向上と次世代ファンの育成)

①本質的価値:F1コアファンの琴線に触れるドライバーイベントや現代F1につながるエポックなマシンのデモンストレーション走行など、“鈴鹿ならではの”の演出でイベントを開催。

②次世代ファン:ファン育成を図るためのファミリー向けイベントを充実させ、毎年その規模を拡大させています。お子様にモータースポーツの楽しさを体験を通じて伝えることを中心に展開しています。



■「安全・安心・快適」の追求の先にある感動

鈴鹿サーキットのF1グランプリに来場いただくお客様に、提供するのにはレースの感動だけではありません。常にお客様目線に立って改善を進め、安全性と快適性を追求したイベントの実現を目指しています。



■F1コアファン向けイベント&HondaF1連動施策

レジェンドドライバー・マシン・技術面において、HondaF1だけではなく、第2期ブーム全体のコンテンツを展開することで、第2期F1ブーム体験層を鈴鹿に呼び戻し、2015年Honda応援ムード拡大に繋げる。

イベントコンテンツ

新規

①HondaF1レジェンドドライバー招聘

第2期にHondaF1でドライブしたレジェンドドライバー『N・マンセル氏』を招聘し、過去の振り返りとレギュレーション改定およびHondaF1復帰に関するイベントに出演していただくことで、F1ブーム体験層への来場訴求を行なう。

■ナイジェル・マンセル プロモーション協力

- ・イギリスGPにおける可夢偉対談
- ・HondaF1に関する思い出メッセージ
- ・2015HondaF1に期待するメッセージ
- ・日本GP当該週の都内取材対応

■イベント出演

- ・ウィリアムズFW11('86)デモンストレーションラン
- ・GPスクエアトークショー／サイン会
- ・レーシングシアターF1Kids写真撮影
- ・VIPスイート／パドッククラブトークショー
- ・前夜祭トークショー

【GPスクエアトークショー】

- ・第2期HondaF1の栄光を語るトークショー
- ・2015HondaF1復帰への期待を語るトークショー
- ・今年の日本GPの展望を語るトークショー



N.マンセル/Honda時代



イギリスGP対談



ステージトークショー



前夜祭トークショー



こどもとの写真撮影イベント



FW11デモンストレーションラン

イベントコンテンツ

②HondaF1～復活の鼓動～

第2期のHondaF1マシンを活用した、展示&デモラン企画。GPスクエアの展示におけるエンジン始動や、日曜決勝前のデモンストレーションラン実施により、HondaF1復活のカウントダウンを行なう。

(1)デモラン&展示

■マシン

FW11('86)、MP4/4('88)

⇒ターボ時代のチャンピオンマシン。

『Honda』『ターボ』『チャンピオン』という共通ワードで展示。

⇒**展示エリアでは、エンジン始動も実施予定。**

■デモンストレーションドライバー

FW11('86):N・マンセル氏

MP4/4('87):佐藤琢磨選手



ウィリアムズFW11



マクラーレンMP4/4



N.マンセル+FW11



佐藤琢磨+MP4/4

③トークショー～F1今年の見所と2015年HondaF1への期待～

海外TV局の解説ゲストとして来場するレジェンドドライバーやジャーナリストによるトークイベント。外国人ゲストに出演していただくことで、世界選手権らしさを演出しつつ、2015年に向けたムードアップを図る。

(1)海外ドライバー

J・ハーバート(金曜)

A・デビットソン(土曜)

D・クルサード(日曜)

(2)日本人ドライバー

佐藤琢磨選手(調整中)



J.ハーバート



A.デビットソン



D.クルサード

■ファミリー施策①

「ホンモノを知る、もっと応援したくなる」をコンセプトに、2014年のF1プロモーションテーマである『Change×3』の要素を取り入れた体験・学習型のファミリーイベントを取り組むことで、第2期F1ブーム体験層のファミリーを囲い込みを目指す。

イベントコンテンツ

『できたがいっぱい！』コチラレーシングのF1ピット

レーシングシアター前ひろばで実施するファミリー向けイベント。「ホンモノを知る、もっと応援したくなる」の切り口でイベントを整え、ファミリーでの来場意義創出と将来のMSファン作りを目指す。



【実施企画1:F1はやさのヒミツ教室】

小倉茂徳氏を講師に招き、小学校低学年のお子様を対象にしたワークショップを展開。『ターボ』にテーマとし、『ターボ』訴求のために、SF14の展示やエンジン始動を実施し、『ホンモノ』を活用することで、印象に残る演出を行なう。



【実施企画2:東急ハンズプレゼンツ 応援グッズクラフト教室】

モノづくりのブランドである東急ハンズの協力の元、小学生向けのF1応援グッズのクラフト教室を実施。自分で作るグッズを使って、レースを応援するムード、会場の雰囲気作りも意識する。



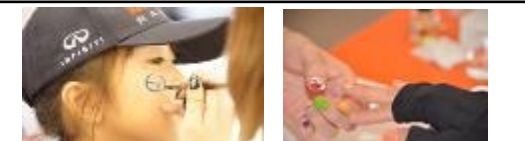
【実施企画3:マクラーレンF1マシンなりきりフォトスタジオ】

マクラーレンF1マシンへのお子様乗車企画。レーシングスーツ着用し、写真撮影を可能とする。



【実施企画4:応援ネイル&フェイスペイントサービス】

小学生以下のお子様を対象にした、国旗等をモチーフにしたネイル&フェイスペイントサービス。お子様の応援雰囲気を作る。



イベントコンテンツ

【実施企画5:スーパーフォーミュラマシンSF14展示&エンジン始動】

SF14を展示&エンジン始動を行なうことで、「速さのヒミツ教室」での『ターボ』説明と、『ホンモノ』のレーシングマシンで、お子様に強いインパクトを残す。

進化

【実施企画6:スーパーフォーミュラSF13タイヤ交換体験】

ホンモノの『スーパーフォーミュラ』を活用した、お子様向けタイヤ交換体験を実施。SFチームのピットクルーの協力により、**よりホンモノに近いカタチでタイヤ交換体験**を実現する。

進化

- ・ピットクルーは全員ホンモノのメカ。服装もホンモノ。
- ・マシンを少し転がし、ジャッキアップする。そして前輪をタイヤ交換を実施。



本物に触れるイベント

【実施企画7:F1キッズ大集合!マンセルと一緒に写真を撮ろう!】

レーシングシアター前にお子様に集合していただき、ご自身で製作した『うちわ』や『マシンキャップ』をかぶり、フェイスペイントやネイルを施して、みんなでマンセル氏とともに集合写真を撮ることで、思い出作りを行なう。

進化



こどもとの写真撮影イベント

その他イベントコンテンツ

①鈴鹿市小学生とF1チーム交流プログラムの実施

年間でF1チームと交流を続けることで、シーズン通してのF1への興味訴求と教育要素(英語)の連動を目指す。

【参加チーム(7チーム)】 ※次ページ参照

レッドブル、ウィリアムズ、トロロツノ、F・インディア、ロータス、ザウバー、マルシア

- 学童ピットウォーク参加人数
2013年 5校321人⇒2014年 9校635人
- チーム交流プログラム参加校
2014年 6校(新規取り組み)

進化



F1チームとの交流プログラム

②ファミリーシートキッズ表彰式ツアー

ファミリーシートご購入のファミリー限定、レース直後のホームストレートに入場し、間近で表彰式を見ることができる。



キッズ表彰式ツアー

新規

	学校名	交流F1チーム
①	鈴鹿市立明生小学校	WILLIAMS F1 TEAM
②	鈴鹿市立長太小学校	LOTUS F1 TEAM
③	鈴鹿市立鼓ヶ浦小学校	SAHARA FORCE INDIA F1 TEAM
		INFINITI RED BULL RACING
④	鈴鹿市立椿小学校	SCUDERIA TORO ROSSO
⑤	鈴鹿市立合川小学校	MARUSSIA F1 TEAM
⑥	鈴鹿市立郡山小学校	SAUBER F1 TEAM

小林可夢偉選手応援企画として、

F1日本GP来場の全てのお客さまに対して、『小林可夢偉応援フラッグ』を配布いたします。



【ご参考】小林可夢偉応援席は、C席(2コーナーからS字にかけて)に設置いたします。

より多くの鈴鹿市民の皆さまに、F1日本GPをご覧いただき、F1の生の迫力・魅力を感じていただくために、昨年に引き続き、『鈴鹿市民応援席』を設定させていただいております。

■『鈴鹿市民応援席』販売内容

C席(大人) 特別価格20,600円
C席(子ども) 特別価格 4,200円

■『鈴鹿市民応援席』販売期間

2014年7月5日 ~ 8月31日

■現時点での販売枚数 ※7月28日時点

一般 228枚 (前期最終316枚)
職員 183枚 (前期最終195枚)
商連 8月販売 (前期最終237枚)



以上